

解雇問題を解決し
安全・安心のJALを

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.915(32-25)2018年3月30日

JAL解雇撤回愛知の会 大宣伝行動 in 名古屋・栄



【写真】マイクを手に訴える山口団長



毎月“1の日宣伝”を行っている「不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える愛知の会」は、3ヵ月に1度大々的な宣伝や集会を実施しています。今回は3月11日の日曜日、名古屋ウイメンズマラソン、愛知労連主催の反原発集会、愛知県医労連のナースウエーブ等、盛りだくさんのイベントが開催される中で繁華街“栄”で大宣伝行動が行われました。

3.11 第1回公判中

7年前の3月11日午後2時46分、客乗原告は第1回公判で東京地裁101大法廷の中にいました。突然流れた地震警報に驚き、ユサユサ揺れ始めた途端、数名が出口を確保しました。パイロットの原告は報告集会の準備中で、崩れ落ちる天井や壁の中、階段を駆け下りたそうです。もちろん報告集会は中止。しかし、多くの支援者・原告共々、帰宅困難者に。信じられない地震の被害と初公判の興奮で、眠れない夜を過ごしました。

3.11の記憶とともに名古屋に入った争議団は、整理解雇の不当性とともに植木社長の「私の代で解決したい」発言等、最近の会社対応と運動の現状を報告し、支援を訴えました。この日は暖かな晴天の休日。人通りも多く、1時間で1000枚のチラシを配りました。「初めて知った」とJALの解雇事件のチラシを見入っている姿が印象的で、まだまだ宣伝の必要性を感じた1日でした。



【写真】チラシを配布する池田さん。1000枚のチラシがはけました

愛知の会では5月26日に中部国際空港で「Tシャツ宣伝行動」を実施します。これは、全員で「安全第一！JALは解雇した165名を職場に戻せ！」と書かれたTシャツを着て、空港内を「ブラブラ歩き」するアピール行動です。どうぞご参加ください。また、6月5日には学習会を予定しています。

植木社長は統一要求を受け止め決断を！



「JALの被解雇者を職場に戻すべきではない」などという意見は、政府も含めてどこからも出ていません。どう解決するかは統一要求で示しています。争議の解決は、乗員不足をはじめとする人員・ベテラン不足の解消はもとより、労使の信頼関係回復につながります。破綻のゴタゴタを引きずるのはJALの発展のためにも終わりにしましょう。「私の代で解決したい」という発言を、今こそ実行に移すべきです。